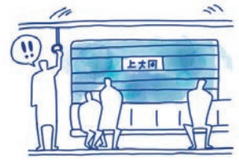
Feature 02

# まちの歴史を紡ぎ、行き交う人と時間の流れを表現

## 横浜市営地下鉄 上大岡駅

バスターミナル改札口。ブルーラインのカラーに染めた絹織物の光柱が、駅の「顔」を演出する

### 時間の流れ（シークエンス）



**駅に着くと…**

大岡川で盛んだった捺染を、ホーム壁で表現。他の駅と変化をつけ、「上大岡に着いた！」と分かる

**改札を通るとき…**

改札空間では、上大岡らしさを感じる「エントランス」としてデザインする

**地上エレベーターでは…**

街中にいても、地下鉄上大岡駅への入り口エレベーターが、特徴ある分かりやすいデザインとなっている

**連絡通路では…**

長い連絡通路にまちの特徴となるデザインをつなげることで、通りたくなる通路を演出する

### まちの再開発でさらに需要が高まる駅にふさわしい姿に

横浜市営地下鉄ブルーラインの上大岡駅は1972年開業。以来、京浜急行電鉄本線との連絡駅であり、駅前に横浜南部地域最大規模のバスターミナルを有する重要な交通結節点として発展してきた。今回のリニューアルはバリアフリー化に伴うもの。エレベーター新設にあたって老朽箇所を修繕するとともに、利用者が自分の居場所や目的方向を感覚的に捉えやすいよう壁面グラフィックを配し、駅の機能性や利便性を高めることを目的とした。

### 人の動線とまちのストーリーを重ねる

まずは、地下鉄で地下2階のホームに到着した利用者が、まち（地上）に出るまでの動きを整理し〔右ページの時間の流れ（シークエンス）を参照〕、ホーム・連絡通路・改札・地上エレベーターに「顔」となるポイントを置くことに。ホームからまちへ、まちからホームへと移動する人々の動線に、過去から現在にかけて移りゆく上大岡のまちのストーリー、そして大岡川の流れを重ねていくことによって、人・時間・歴史・川の“流れ”をつくり出し、空間そのものに人々を誘導するサインとしての役割を担わせた。

### 伝統産業・捺染（なっせん）をモチーフに

デザインのモチーフに採用したのは、かつてこの地の主要産業だった捺染。大岡川では、染め上げた布を流し洗いする様子が風物詩になっていたという。そんな歴史的な産業をまちの顔となる駅のデザインに取り入れることで、大切な地域の歴史を継承したいと考えた。さらにブルーラインの路線カラーであり、大岡川を感じさせる青を基調にすることで、京浜急行電鉄本線との対比を明確にし、分かりやすくする効果も狙った。

### シンボリックな光柱を演出

「顔」の一つである改札エントランスは、ブルーラインのカラーに、白と黒のサインが映えるすっきりとした空間に生まれ変わった。その演出のメインとなる光柱は、染めた絹織物を特注の合わせガラスに挟んだもの。あえて不規則な節ができる玉繭から紡いだ糸で織った布地の質感を生かすライトアップによって、人の目を引く絶妙なグラデーションをつくり出した。

新設したエレベーター。まち（地上）と駅をつなぐ

京急連絡改札口

ブルーのグラデーションが彩るホーム対向壁

### グラフィックで「上大岡駅」を示す

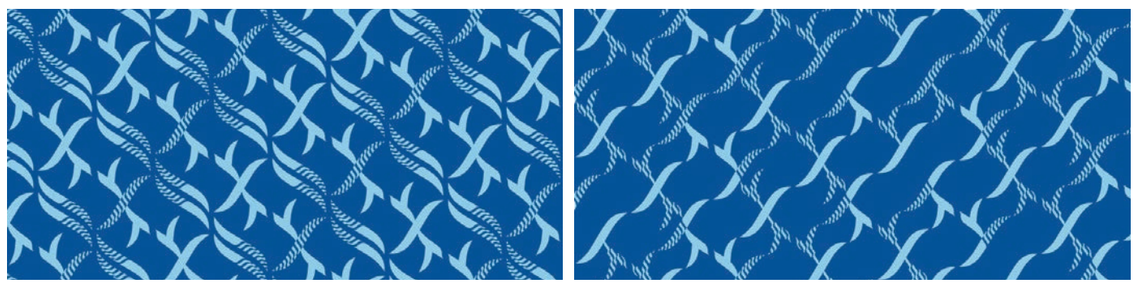
地下鉄のホームは多くの場合、画一的でどの駅に着いたかが分かりにくい。そこで、タイルが老朽化していたホーム対向壁を改修し、他の駅と差別化するグラフィックを配した。文様は、上大岡駅の「上」の文字をモチーフに、川を流れる布の揺らめきや水面のきらめきを表現。1番線ホームと2番線ホームで図案と色の配置を変えることで、方向の違いを分かりやすくしている。施工は、外装用のホーロー鋼板に転写紙を使い着色。継ぎ目が目立たないデザインにすることで、転写紙をつくるための版の使い回しを可能にしてコストを抑えた。

### つながりのあるデザインで自然と歩きたくなる連絡通路に

上大岡駅には、二つの改札をつなぐ連絡通路がある。通り抜けができる便利なルートだが、改修前は入り口の視認性が悪く、通路の行き先が分かりにくかった。今回は、その改善にも着手。入りやすくて明るい通路への「変身」を計画した。

地下空間は閉塞的で単調なため、方向を見失いやすい。その対策にも「捺染」の版を重ねる印刷技術をモチーフにしたデザインを活用した。コンコースを進むごとに、川の水面のような版が重なっていき、デザインが完成するイメージである。それを数パターン用意して、壁面の変化を楽しみながら、歩ける通路とした。また、照明のLED化の際に、適所に川のきらめきのような光膜天井も設置。グラフィックと照明の効果で、休憩や待ち合わせ場所として気軽に使える憩いのスペースも再生できた。

### ホーム対向壁のグラフィックデザイン


対向壁に使用したグラフィックは、1番線（左）と2番線（右）で対になるデザインとした

京急連絡改札口とパスターミナル改札口をつなぐ連絡通路

大岡川に布がなびく様子をモチーフにしたグラフィック

### 連絡通路壁面のグラフィックデザイン

進行するごとに版が増える（逆方向では減る）ことで、移動距離を視覚的に捉えられる。内装用ホーロー鋼板にインクジェットで印刷して作成

明るく使用しやすくなった休憩スペース

ホーム階　エレベーターのりば

### 横浜市営地下鉄 上大岡駅

| | |
|---|---|
| 所在地 | 神奈川県横浜市 |
| 用途 | 駅舎（地下鉄） |
| 建築主 | 横浜市交通局 |
| 施工 | 安藤ハザマ・西武建設共同企業体 |
| 敷地面積 | 5,003.54㎡ |
| 建築面積 | 110.00㎡ |
| 延べ面積 | 4,310.43㎡（建築基準法）<br>（6,160.66㎡（改札内も含む）） |
| 改修面積 | 約4,800㎡ |
| 階数 | 地上２階、地下１階 |
| 構造 | RC造（一部S造） |
| 使用開始 | 2024年２月 |
| 〈担当〉 | |
| 統括 | 福田憲一、西野絵里子 |
| 建築 | 鈴木愛子 |
| 構造 | 牧野行伸、西祥太郎 |
| 設備 | 宗形英樹* |
| 電気 | 池谷悟*、中丸秀男 |
| 仮設施工 | 山岡眞司* |
| 積算 | 古宮成高 |
| サイン | 小島功子 |
| CG | 青城伸太郎 |
| | （*は元社員） |

グラフィックデザイン　シャラクシー

### PROJECTS　横浜市営地下鉄 上大岡駅

当社HPでも
同物件のご紹介をしております。
ぜひ、ご覧ください。